

平成 31年 3月 27日

日光市議会議長 斎藤伸幸様

日光市議会議員 亀井崇幸

## 議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	エネルギーの地産地消新事例
会議等の 主催者の名称	全国地方議会議員勉強会
場 所	名称等：貸会議室プラザ八重洲北口 住 所：東京都中央区八重洲1-7-4
期 間	平成31年2月15日(金)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>自然電力(株)プロジェクトマネージャーの大迫直志氏が講師となり、地域での新電力を中心とした、地域経済を活性化するような事例の説明を受けました。</p> <p>長野県小布施町松川での「小水力発電」では、川から導水した水力を使用し、町の1割の電力を賄っているとのことでした。日光市においても、年間を通じて水量が安定している河川と、高低差がある地形という地理的な条件が重なれば、建設は可能であるとのことなので、災害などの非常時の電力源として、建設の可能性を議論すべき事例とし</p>

て重要だと感じました。

また、小布施町内の工場や、公共施設などの屋根上を利用した太陽光発電からの電力供給によって、電気の地産地消を促進し、地域の生活インフラや産業振興の充実を図る取組みをしているとのことでした。

日光市においては、すでに平地での太陽光発電の建設は進んでおり、工場や公共施設などの屋根上を利用した太陽光発電も進んでいます。今後は、民間の一般住宅にもこのような取組みを広げるかが、今後の課題です。

世界的に見て、化石エネルギーから自然エネルギーへの転換は必要不可欠であると思われ、自然エネルギーを活用して、地域経済をいかに活性化させるかが重要であると感じました。